



2006~2007年度
国際ロータリーのテーマ
率先しよう
2006~2007年度
ウィリアム・ビル・ボイド

Weekly Report

創立: 1980年(昭和55年)1月10日
会長: 遠山 堯郎
幹事: 天野 正明
会報委員長: 稲垣 豊
例会日: 毎週木曜日 PM12:30~
会場: ヒルトン名古屋
事務局: 460-0008
名古屋市中区栄1丁目33
ヒルトン名古屋910号
TEL: 052-211-3803
FAX: 052-211-2623
MAIL: 2760nagoya@mizuho.rc.jp
URL: http://www.mizuho.rc.jp/

第1318回例会

ロータリー親睦活動月間

2007年5月17日(木) 晴 第40回

司会: 岩崎道夫会場委員
斉唱: 「それでこそロータリー」

会長挨拶

遠山堯郎会長



観光シーズン真最中になりました。4月末に、当地区の斎藤ガバナー、地区新世代委員長、RAC委員長、RAC地区代表、RAC地区幹事と一緒に、友好地区締結をした青森の第2830地区を訪問しました。会議を終えたのち、弘前公園を見学しました。2632本の桜はほぼ満開でした。桜の肥料に工夫があり5~8個ついた花弁が殆どで一段と美しく見えます。弘前市は桜のための年間予算は、市民も納得して、5億3千万円だそうです。また桜の木の寿命は約60年だそうです、270年を超える桜の木もありました。長く持たせる方法として、新しい枝がでてきたら親木を切るそうです。新しく伸びた枝は、その長さが、老木の中へ新根を張っていくから寿命が延びると説明を聞きました。翌日は、22メートルもある「立佞武多」(青森はねぶた)見学してから、八甲田山の5mを超える雪回廊のドライブでしたが感動しました。残念ながら自動車の排気ガスで黒ずんだ雪回廊があったのは残念でした。最後に、標高925mにあるブナ林、トドマツ林に囲まれて、50年前に国民保養温泉の指定第一号に指定され、300年を越えて男女混浴を守り続けている八甲田の酸ヶ湯温泉に入りました。見事な完全混浴風景に驚きました。同じ湯船が2つありまして仕切りも何もありません。男女の区別は小さな立て看板だけでした。女性は裸で入浴すると、専用の服を着て入浴している人もありました。時間が少なくて10分ほど湯船につき引揚げましたが、何時までもポカポカと本物温泉の素晴らしさを経験できました。温泉の入り方ですが、最も理想的な温泉の入浴法は、足湯、腰湯、半身欲、全身浴を含めて1~2時間入ることだそうです。

最近の私たちは、温泉と言えば、豪華な食事をするところになっています。この温泉旅行のかたちは戦後に生まれたそうですが、日本でいう温泉は「湯治」だったはずですが、何処かえ消えてしまいました。江戸時代の農民は農繁期が終わって、疲れ果てた身体を元気に快復するところ、それは湯治場に行くことしかかったようです。豊臣秀吉は、兵庫県の有馬温泉を繰り返し訪ね、徳川家康も熱海の温泉を訪ねていたそうです。日本人は昔から温泉の力を知っていたはずなので、これからの温泉旅行の時間を見直してはどうか!と思いました。

出席報告

八木沢幹夫出席委員長

会員73名 出席54名 (出席計算人数51名)

出席率80.39% 5月10日は補填により 82.35%

幹事報告

天野正明幹事

- ・本日、18時より台北延平RCウェルカムパーティです。5階「金扇の間」にて行います。
- ・本日、13時35分より新旧クラブアッセンブリー及び新旧理事会です。関係各位はご出席ください。4階「桜花の間」にて行います。
- ・田口 豊さんが6月30日まで休会です。
- ・茅ヶ崎湘南RC30周年記念式典祝儀としてニコボックスより10万円拠出します。
- ・梅田朋嗣さんの職業分類が「放送事業」から「放送及び通信事業」へ変更になります。「Broad casting Service」から「Broad casting and Communication Service」へ変更)

臨時例会変更のお知らせ

名古屋西			6/21(木)
名古屋北		6/15(金)	
名古屋東南	5/30(水)	6/13(水)	
名古屋中		6/11(月)※	
名古屋和合	6/6(水)		
名古屋名東			6/19(火)
名古屋名北			6/20(水)
名古屋千種			6/19(火)※
名古屋大須	5/31(木)※		6/21(木)
名古屋栄	6/4(月)※		
名古屋名南	5/29(火)◇		6/19(火)※
名古屋昭和	5/28(月)※		
名古屋西南			
名古屋葵	5/31(木)※	6/14(木)※	
名古屋清須			6/19(火)
尾張中央			6/20(水)
豊山一城北	5/29(火)		

(注) ※は休会・その他理由につきビジター受付はありません。
◇はサイン受付時間が17:30~18:30となります。

ニコボックス

八木沢幹夫ニコボックス委員長

- ・欠席が続きますして申し訳ありません。 景山 和明さん
- ・瑞穂RCと同じ名前の瑞穂ゴルフクラブが、京都にあります。 5年ぶりにそこでプレーしてきました。18ホールできました。スコアは悪かったですが、楽しんでできました。 岡本 忠史さん
- ・5/27は私の誕生日です。 堀 慎治さん
- ・誕生日おめでとございます。 加納 裕さん
- ・5月6日は妻の誕生日でした。きれいな花を贈って頂きありがとうございました。 館 健吾さん
- ・八木沢先生にお世話になりました。季節ごとのおつき合いです。 天野 正明さん

- ・延平RCの皆様ようこそ。 **岩本 成郎さん**
- ・延平ロータリーの来名を祝して。 **宗宮 信賢さん**
- ・延平RCを迎えて。 **松波 恒彦さん** **高須 洋志さん**

卓話

入江 理さん

「私の趣味」

今日の私のテーマは「私の趣味」です。実は私は色々な事に興味があり色々和首をつっこむのですが、熱しやすく冷めやすいので、なかなか長続きしません。なので20年も30年も続いている趣味はないのですが、今興味を持っているうちの一つは「鉄道模型」です。1両が10cmくらいの小さなNゲージ模型を走らせて遊んでいます。子どもみたいですが凝ると面白くて、山や川などのジオラマを作って走らせたいと思っています。もう一つの趣味は飛行機のラジコンです。ヘリコプターが好きで、人から戴いたのも含めて4機持っています。浮かせておくだけでも非常に難しく、やっと10cmくらい浮き上がってすぐに落ちてしまうような状態です。できれば空中にうまく飛ばして、カメラを付けて空中から撮影したいと思っています。もう一つがレコードです。最近色々な所からレコードを手に入れて聞いています。アナログレコードを聞く人は最近少ないと思いますが、今池のレコード屋、インターネットで購入します。アナログレコードのシャカシャカという音をコーヒーを飲みながら聞くのもなかなか乙なものです。あと一つが本題のバイオリンです。



形と音が非常に気に入っていて昔から好きだったのですが、4年ほど前にバイオリンを手に入れて、ただ持っているだけではつまらないので、弾いてみようかということで始めました。去年の1月から週に1回、バイオリンの先生について習い始めました。1年と半年たちますが、これからも続くと思います。

今日はバイオリンについてお話しします。バイオリンはそもそも16世紀の後半にイタリアで生まれた楽器です。イタリアのクレモナ出身のアンдреア・アマティという人が今のバイオリンの原型を作ったと言われています。ニコラ・アマティという彼の孫もバイオリンの製作者でした。ニコラ・アマティの弟子にみなさんご存じのアントニオ・ストラディバリウスという製作者がいました。1737年に93歳で亡くなっていますが、彼が作ったバイオリンが現存しております。生涯で1000本近くのバイオリンを製作したと言われていますが、実際には一人が作るのに400時間以上、約2ヶ月かかるので、1年で6本が限界だと思います。ですから、実際は弟子が作ったものも含めて約1000本だそうです。その中で現存するものが500本ほどあるそうです。有名なバイオリニストはストラディバリウスか、同年代にバイオリンを作っていたガールネリ・デル・ジェズの子孫のバイオリンのどちらかを使っているようです。日本人では高嶋ちさ子さんが1736年製の「ルーシー」という名前の付いたものを使用しております。千住真理子さんが「デュランティ」、川井郁子さんが1715年製のストラディバリウスを使っています。500本ある内の何本かは、美術館に所蔵されたり、バイオリニストが演奏に使用したりしています。バイオリンの寿命は400年くらいと言われているので、あと100年くらいは使えるようです。

次にバイオリンの構造を説明します。表側はフィヒテやブルー松と呼ばれる松材です。裏側はメイプルと呼ばれるかえの木です。1枚の厚い板を削りだしてふくらみを作っています。そしてパーリングという象嵌細工がされています。バイオリンを保護するためと装飾のために細工されています。指で押さえる所は指板と言って、黒檀(エボニー)で出来ています。弦はギターと同じで、ガットもしくはナイロン、スチールなどで出来ています。通常はナイロン弦が使われている事が多いです。ガット弦ですと、伸びたり切れたりしてしまう事が多いので、ナイロン弦を使っている事が多いです。バイオリンの内部には、魂柱という8mmほどの柱が

あって、これがないと音が鳴りません。というのは、弦を弓でこすった音が、駒を通り表面の板に振動を与えます。その与えた振動が魂柱を伝わって裏側の板に伝わります。両方の板が振動する事により板が共鳴してバイオリンの音が出る訳です。ですから魂柱がずれたり、外れたり、取れたりするといい音が出なくなります。バイオリンの弓は木の棒と馬のしっぽの毛です。馬のしっぽが高いのだからとよく言われますが、どんなに高い弓でも安い弓でもしっぽの毛の値段は同じです。5,6,000円~10,000円くらいで1年に1回くらい張り替えます。なので、高い理由は棒なのです。通常高いもので200万円ほどです。安いもので2・3万円ですが、バイオリンを弾く人は20万円くらいのもを使っています。なぜ高いかというと、安いものはブラジルウッドという木が使われており、高いものはブラジルのフェルナンブーコという木で作られています。伐採のしすぎで輸出が禁止され、原木が入ってこない状況になっているからなのです。もしかしたら弓だけでも購入しておくとい値があがるかもしれません。

バイオリンの値段ですが、ストラディバリウスの一番高いもので、昨年4億円という値段がつきました。バイオリンは弦以外は木で作られていて、建築材料として買うとしたら1,000円以下で買えるほどの材料です。実際取引されているものは高いもので億の値が付くものから、1万円ほどのものまで様々です。日本の相場ですと、一人が約2ヶ月かけて作る人件費として30万円×2ヶ月の60万円+材料費が20万として、およそ80万円が相場です。イタリアが発祥地なので、イタリアのバイオリンが一番いいと言われていています。特にクレモナのバイオリンがよいとされており、現在第2のストラディバリウスになるであろうと言われているジオバット・モラッシーやフランシスコ・ピソロッチという作家がおりますが、そうした作家が製作したものは新作で250~300万円ほどの値がついています。ところが年代物になると骨董価値が上がって、名もないものでも17・8世紀に作られたものだと最低でも5・600万円、ストラディバリウスですと一番安いものでも1,000万円はします。日本の有名なバイオリニストで、テレビで見られるようなストラディバリウスは億の値はついているようです。実際に所有している人は少なく、財団などが保有しているものを使用しているケースがほとんどです。

本日は、習い始めて1年しか経っておらず、お聞き苦しいとは思いますが、ベートーベンの「メヌエット」と「タイスの瞑想曲」をお聞き頂きたいと思ひます。



今週卓話

5月24日(木)

会員卓話：近藤茂弘さん
テ — マ：「新入会員イニシエーションスピーチ」

次週卓話

5月31日(木)

卓話講師：NPO法人子どもセンター「パオ」運営委員・弁護士
安藤雅範さん
テ — マ：「子どもを取り巻く100人の目」